



最優秀賞

「VIVA 徳島!!!」

サンチェス ハコボ

(メキシコ グアダラハラ市 在日5ヵ月)

Hola!!!!, buenas tardes a todos y gracias por asistir.

皆さんこんにちは！メキシコから来ましたハコボと申します。お元気ですか。

ところで皆さん、メキシコと日本には共通点があると思いますか。アニメ、侍、ラーメン、言語、歴史などの文化。これらがきっかけで、私は小さい頃に日本が好きになりました。その時は、すべてがメキシコと全然似ていないと思いました。そして私はだんだん日本に興味を持ち始めました。

日本に来るために、長い間いくつかの目標を立てて、たくさんの努力をしましたが、私は観光する時に得られるもの以上の何かを経験したいと思いました。私は観光客以上の存在になりたかったのです。そして、自分自身の性格や考え方、メキシコ文化について何かを伝えられるようになりたいと同時に、もっとリアルで親密な日本を感じたいと思っていました。

昨年の10月にボランティアのプログラムを探すことに決めて、眉山大学と言うNPO法人を見つけ応募した結果、受け入れられて、12月に飛行機のチケットを買いました。そして、今年3月の最初の週にここ徳島に着きました。どのボランティアプログラムを選ぶかということに関して、社会を助ける機会がたくさんあるという理由から、私は眉山大学のプログラムに決めました。ボランティアプログラムでする活動は面白く多様です。例えば、花ロードの花を世話したり、保育園と小学校の活動を手伝ったり、その子供たちと遊んだり、川を掃除したりします。さらに、障害を持つ子供たちと一緒に遊ぶための活動もしています。彼らと遊ぶこの経験はとてもユニークで楽しいです。私は、これらすべての活動によって、多くの人々と出会い、友達を作りました。また祭りについて知り、文化を知り、日本語を練習することができ、さらに自分自身を知ることができました。

徳島は私が住んだ日本で最初のところであり、私はそれが良い決断だったと思っています。なぜなら、徳島の人々は親切で、外国の文化や外国人と知り合うことに興味があります。また、街自体は大きくないにもかかわらず、活気と楽しさにあふれた場所がたくさんあります。そして、徳島には1年を通して楽しめる美しい自然と阿波踊りというユニークなお祭りがあります。私は花見をすることができ、ゴールデンウィークについても知り、マチアソビを楽しんで、平成から令和の時代への変化

を目撃しました。

このように日本の文化を経験したのと同じように、私はメキシコの文化を人々に伝え、シェアすることができました。

例えば、スペイン語の言葉を教えたり、ラテンのリズムでダンスしたり、私の国の状況を説明したり、メキシコ料理を作って友達と一緒に食べたりしました。

メキシコ料理の中では、私はグアカモレと言うアボカドを使った伝統的なソースを作るのが好きです。日本ではメキシコと比較するとアボカドの価格が割高なので、グアカモレを作ることも高くなりますが、それは食べてみる価値があります。その材料の中にはメキシコのレモンがあり、ここではそれほど簡単に手に入れることはできませんが、スタチを使った場合、味はほとんど同じであることを私は発見しました。それで、私は徳島のスタチとメキシコのレモンはとても似ていると思いました。

徳島のスタチとメキシコのレモンが非常に似ているのと同じように、徳島の人々の優しさも私の国の人々を思い出させ、今私が地球の裏側にいるようには感じさせてくれません。メキシコの文化と日本の文化はあまり似ていないように見えますが、2つの国には様々な共通点があるのです。

最後に、このような素晴らしいボランティアプログラムに参加させてくださったり、協力してくださっている方々に感謝を伝えたいと思います。

みなさん、ほんまにありがとうございます。

Muchas gracias!



徳島県議会国際交流議員連盟会長賞

「叶った夢」

ゴー ティ ズエン

(ベトナム ナムディン省 在日4年2ヵ月)



今、私は介護福祉士として介護老人保健施設平成アメニティで働いています。日本で介護福祉士になるという夢が叶って嬉しいです。

私はベトナムで看護師でした。看護師の資格を持っていれば、日本で介護福祉士になれると知って、チャレンジしたいと思いました。1年間ベトナムで日本語を勉強して、日本へ来ました。今、日本に来て4年目です。1年目、徳島県に来て阿波弁が分からなくて困りました。今、私が働いている平成アメニティには利用者さんが100人います。100人の利用者さんの名前、顔、個別ケアなどを覚えなければならなくて大変でした。私は仕事の不安をいっぱい持っていました。主任をはじめ、職場の人たちは親切にしてくれました。おかげで、少しずつ仕事に慣れて段々楽しくなってきました。2年目、職員とトラブルがあって苦しくてたまらなかったです。仕事をやめることも考えました。でも、そのとき、ベトナムの代表として来日していることや、日本に来た目的を思い出しました。どうしても、介護福祉士の国家試験を受けて、合格したかったです。介護福祉士の資格を取らず、途中で仕事をやめて、ベトナムに帰るようなことは決してしたくなかったです。もうちょっと頑張ろうと思いました。3年目、国家試験が近づいてきてとても緊張していました。仕事をしながら国家試験の勉強をしていたので、毎日忙しかったです。ときどき、頭に入らなかったです。そこで、何人かの利用者さんに試験勉強のことを話しました。すると、それからは、会ったとき、いつも笑顔で「試験勉強、頑張りよ」、「応援するけんな」と言ってくれました。私は仕事と勉強の疲れが全部消えるくらい嬉しかったです。元気がいっぱい出ました。毎日、勤務時間の中で2時間、試験勉強をさせてもらいました。私が抜けた分、職場の皆は忙しくなります。それでも、職場の人たちは怒らず、「今、大切な時期だから、職場のことは心配しないで、試験勉強、頑張ってね」と言ってくれました。「よし、必ず、国家試験に合格しよう」と心に誓いました。4年目、国家試験を受けて合格しました。何よりも嬉しいことです。家族や友達や職場の人たちや利用者さんに、合格したことを報告しました。すると、皆すごく喜んでくれて、私の喜びは2倍になりました。

日本で介護福祉士になるのは簡単ではありません。でも、私は介護福祉士になりました。苦しい

ことの中にきっと「福」・「幸せ」があると信じています。夢を叶えるまでには、大変なことがあります。でも、自分が諦めず、最後まで頑張れば、きっと夢は叶います。私は看護師の仕事しかできないと思っていましたが、今、別の仕事ができています。私の考え方は変わりました。何かしたいことがあれば、まずやってみようと思います。失敗を恐れず、前に進もうと思います。

お年寄りに接すると自分の世界が広がります。お年寄りは冗談も上手です。一緒に大笑いすることもよくあります。利用者さんの笑顔を見ると幸せな気持ちになります。やればやるほど介護の仕事が好きになっていきます。私は早く一人前の介護福祉士になりたいです。そして、できるだけ長く日本で介護福祉士の仕事を続けたいです。そのためにも、自分を磨いて、質の高い介護サービスができるように毎日頑張っています。

介護の仕事は面白くて楽しいですよ。私と一緒に介護の仕事をしませんか。国籍に関わらず、介護の仲間が増えることを願っています。それと同時に、ベトナム政府と日本政府との関係がますます良くなることを願っています。

